



各位

国立国語研究所

国立国語研究所宮地裕日本語研究基金 「学術奨励賞」受賞者を決定しました

国立国語研究所（大学共同利用機関法人 人間文化研究機構）は、宮地裕日本語研究基金「学術奨励賞」受賞者を決定しました。

宮地裕日本語研究基金は、故宮地裕氏（大阪大学 名誉教授）の遺志に基づいた寄附金により、日本語研究の振興に供するために、令和 4 年 6 月に創設したものです。

基金の事業として、このたび第 3 回「学術奨励賞」募集を行い、受賞者を決定しましたのでお知らせいたします。

第3回 国立国語研究所宮地裕日本語研究基金学術奨励賞

日本語研究（琉球語諸方言を含む）及びこれに関連する分野における個人又は団体の研究活動において、若手研究者による優れた研究に関し 2 件、本賞（賞状）及び副賞（1 件につき賞金 300,000 円）を贈呈します。

■学術奨励賞

氏名（所属）： 大川 孔明（愛知県立大学）

研究業績： 『古代日本語文体の計量的研究』武蔵野書院

授賞理由： 本書は、古代日本語（平安鎌倉期）の作品の文体を、日本語歴史コーパスを活用して多角的・定量的に分析し、当該時代の文体の類型を提示しており、学術奨励賞にふさわしい業績であると判断した。

氏名（所属）： 井上 直美（早稲田大学）

研究業績： 『日本語能力試験の「級外項目」に関する記述的研究—テ形接続の機能語を中心に—』日中言語文化出版社

授賞理由： 本書は、日本語教育の観点から、級外項目とされるテ形接続の機能語を対象に、複数のコーパスを活用して詳細な意味記述や実証的な考察を行った研究であり、学術奨励賞にふさわしい業績であると判断した。

国立国語研究所にて授賞式を開催します

第 3 回宮地裕日本語研究基金「学術奨励賞」授賞式を開催いたします。

■日時：令和 7（2025）年 8 月 4 日（月） 16：00～17：30

■場所：国立国語研究所（東京都立川市緑町 10-2）

※オンライン（Web 会議サービス「Zoom」を使用）参加もできます。

来場・オンラインどちらも事前の参加申し込みが必要です。

参加をご希望される方は、7 月 28 日（月）17：00 までに、国立国語研究所 Web サイトよりお申込みください。

<https://www.ninjal.ac.jp/research/miyaji-fund/miyaji-award-winner/>

宮地裕氏の紹介

宮地裕氏（1924-2021）は、日本語学者、大阪大学名誉教授。文学博士（大阪大学）。京都大学で学んだ後、京都府立西京大学助手、国立国語研究所話しことば室長、大阪大学文学部教授、同学部長、さらには帝塚山学院院長などを歴任。その研究は、現代日本語の文法と表現（特に慣用句、敬語）から国語教育・日本語教育など多岐にわたる。数々の論集や講座シリーズの編集、また雑誌『日本語学』の監修にもたずさわり、多大な影響を残した。著書・編著書に、『文論』（明治書院 1971 年）、『新版 文論』（明治書院 1979 年）、『慣用句の意味と用法』（明治書院 1982 年）など多数。

次回募集については、令和 7 年夏にご案内いたします。

詳細は、国立国語研究所 Web サイトをご覧ください。

<https://www.ninjal.ac.jp/research/miyaji-fund/>

【参考：過去受賞者】

第 1 回宮地裕日本語研究基金「学術賞」

該当者なし

第 1 回宮地裕日本語研究基金「学術奨励賞」

秋田喜美 氏（名古屋大学）『オノマトペの認知科学』（新曜社、2022 年）

菊地恵太 氏（宮城学院女子大学）『日本略字体史論考』（武蔵野書院、2022 年）

第 2 回宮地裕日本語研究基金「学術賞」

上野和昭 氏（早稲田大学）『名目鈔声点本の研究』（武蔵野書院、2021 年）

第 2 回宮地裕日本語研究基金「学術奨励賞」

山田彬堯 氏（大阪大学）定量的・類型論的視点を取り入れた学際的敬語研究

【問合せ先】

人間文化研究機構 国立国語研究所 管理部研究推進課

住所：〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2

Tel：042-540-4374（平日 9:30～17:00）

E-mail：suishinka@ninjal.ac.jp